

令和4年度 研修 年間計画

明日から使える技能を学ぶ

安心安全のサービスを提供できる目を養う

施設名	日時	テーマ	目標	研修内容
		内容	内容	
		接遇 I おもてなし	接遇の基本を身につける 接遇5原則 あいさつ実践	専門職としての必要なプロ意識をもつ 利用者はお客様であるという認識を持つ 接客と接遇の違いとは 快適な空間と快適な距離とは コミュニケーションとケアコミュニケーションの違い 迅速な対応の重要性と実例
		接遇 II 社会人としてのマナー基礎	社会人としてのマナー基礎 ポジティブな言葉 挨拶の習慣	社会人基礎マナーを確認します 今どきの若者ことば 変な日本語 魅力的な言葉について考える 仕事のマナールール、姿勢、考え方 年上、年下に対して 社外への対応
		接遇 III 電話の対応と連絡	接遇の基本を身につける 気持ちの良い電話の対応の仕方 相手を思いやる伝え方 確実に伝達ができる	一連の流れ 電話での言葉づかい、 電話の内容をスタッフ間で確実に共有するには 連携の取り方、報告の仕方 管理者からスタッフへの連絡の共有
		接遇 IV 魅力ある言葉と記録	なぜ記録が必要なのか 何のために記録を取るのかを学ぶ ご利用者・ご家族への伝達と職員間 の言葉の大切さ 魅力ある言葉の選び方と 伝わる記録の書き方	多職種連携、チームケアにおいて、適切に伝えれて いますか？正しく伝わっていますか？ 忙しい同僚に上手にお願いの仕方 家族様へ文書で報告する際の、気持ちの伝え方 ワ ンパターンな連絡帳 報告書の活用 スッキリ分かりやすい文書とは
		接遇 V クレーム対応	事例からご利用者ご家族への対応を 考える ご意見からクレームに変えないため の事例と実践	利用者はお客様という認識を持つ クレーム対応の注意点 迅速な対応の重要性と実例 (何でもクレームをつける利用者様) スタッフによって態度が変わるので どう対応したらよいか困っている
		接遇 VI 職場を明るくする コミュニケーション力	コミュニケーション力をつくる ポジティブ言葉、挨拶の習慣 モチベーションを 上げる行動下げる行動	社会人基礎力の確認 ミスコミュニケーションが起こる理由 ホウレンソウの伝え方のコツ 笑顔力、感謝力 ポジティブな受け取り方 チームカへとつなげる
		接遇 VII 職場のハラスメント防止	職員が安心して働ける職場を作る セクハラモラハラをしないさせない	ハラスメントとは何か 利用者と職員を共に守る 正しくハラスメントを理解し、 働きやすい職場をつくる
		接遇 VIII 介護現場での基本技術 聴き方、話し方、伝え方	介護職として、押さえておきたい要点 基本から応用まで 実際の現場で使える スキルを身につける	対人援助職として新人からベテランまで 知っておきたい文章の組み立てから展開まで 信頼を勝ちとり、施設の評価を上げる

		自分の良さを知ろう	自分の良さに気付くことで ケアの質を上げることができる	自分の良さって言えますか？ 介護職の対人援助技術としてのコミュニケーション 能力として必須です 自分がどんな人間なのか 自分の価値観はなんだろう 自分を知って、はじめて相手を受容することができます
		自分を認める他人を認める	他人の良いところに気付き 相手を受容することで チームケアにつなげる	いろいろな考えの仲間と仕事をします 自分の芯たるものは何か 相手の価値は何か。相手を否定するのではなく、ど うしたら受容することができるのか。視点考え方のヒ ントを学びます 他人の良いところに気付き チームケアにつなげます
		チーム力をつくる 介護現場チームワーク	チーム力をあげることで、 働きやすい職場環境をつくる	あなたのチームはどんなチーム うまくいってる？仲良し？ 介護と看護がうまくいかない？ 講師の失敗をもとに検証 今夜から使える チームが変わる方法を伝授
		チーム力をつくる 職員間のコミュニケーション	コミュニケーション能力の向上 チーム力をあげることで、 働きやすい職場環境をつくる	あなたのチームはどんなチーム チームケアの推進 「相互理解」「相互尊重」「相互補完」理解 4WD発想のケアプラン作成
		チーム力をつくる 作品を作る	やわらかい考え方のトレーニング 伝え方を工夫しよう 物事を柔らかく受け入れる	対人援助技術において 伝える力 受け容れる力を体得する チームとしてお互いの思いやり 「彩り遊字」を通して、伝えることのむづかしさ 物事を多角的に柔軟にとらえる力を養う
		チーム力をつくる 元気になる研修 対象：ケアマネジャー、介護職 モチベーションを保つための方法	職員定着 初心に戻る 仕事のやりがい ストレス対処方法が分かる チームでの対話力の高め方	仕事や職場でのつらかったことを吐き出してみよう 私たちは感情労働者である シヤンパンタワー自分が満たされることを知る そもそもなぜこの職業を選んだのか
		認知症 I 理解	認知症の中核症状と行動心理症状の 理解	認知症の分類・特徴・対応について学ぶ 自ら考え自らやってみる認知症ケア 困難事例の検討と実践 心の受けとり方を身につける 職員間のスキルの差を埋める
		認知症について考える 認知症の方の立場から 行動を理解する	認知症の症状を見抜くことができる 症状別ごとに対応できる 心の受けとり方を身につける 職員間のスキルの差を埋める	認知症の症状別での分類・対応について学ぶ ご飯を食べられない時 排泄を訴えられない時の対応 症状を見抜くためのチェックシート作り
		認知症について ユマニチュードの考え方	認知症のケア技術のひとつ、 ユマニチュードを知る 利用者様に、安心かつ快適な空間を 提供する	認知症の方とのコミュニケーション技術 見る、話す、触れる、立つといった ユマニチュードの考えを利用する 普段の介護現場にどのように活かせるか考えてみ る
		認知症の人への介護技術 3大ケアの基本的視点	基本的な認知症の特徴を理解し、 相手に安心を与えるケアを身につけ る 具体的な事例のケース検討を通し 実践的な介護技術に役立てる	基本的な関わり方の姿勢 本人の情報を集める 否定しない 共感する 介助で気をつけるポイント (食事・排泄・入浴) 事例・演習

令和 4年度 研修 年間計画

施設名	日時	テーマ	目標	研修内容
		内容	内容	
		高齢者虐待と身体拘束 I 虐待の種類と起こる理由	高齢者虐待の種類が分かる 虐待が起こる理由が分かる 虐待を防止する取り組み	どこからが虐待か 身体拘束の禁止 言葉による虐待 時代背景から起こる理由を話し合い 具体的な取り組みを考える
		高齢者虐待と身体拘束 II 虐待を防ぐために 必ず守ってほしいこと	組織がとるべき行動が分かる 3報告の重要性 虐待を防止する取り組み	虐待の背景を考え、組織・個人のとるべきことを確認する 管理者、主任、相談員、一般職 それぞれの立場でできることは何だろう
		高齢者虐待と身体拘束 IV 介護職のための アンガーマネジメント	虐待につながりやすい「怒り」の仕組みを理解する 怒りをマネジメントする考え方と方法を知り、利用者・入居者と自分自身を守る	「怒り」の正体と特性、なぜ怒ってしまうのか 介護現場で生まれる「怒り」の傾向(事例より)を知ろう アンガーマネジメントの考え方とテクニックを身につけよう
		高齢者虐待と身体拘束 V メンタルヘルス研修	自分らしい生き方 人生を大きく変える小さな気付き	仕事や職場での辛かった時の考え方 私たちは感情労働者である どんなに不幸な出来事でも それは幸福へのメッセージ
		感染予防・食中毒から守ろう 明日から使える正しい手洗い 感染の危険箇所を知る	正しい手洗いができる 感染をおこさない環境を作ることができる	食中毒の感染経路を学ぶ 現場での食中毒が発生する場所 ノロウイルス・細菌の種類特徴を学ぶ 嘔吐した場合の処理方法 ヒビスコールを使用した実習
		疥癬等感染症の防止	スキントラブルをおこさない 疥癬の理解と予防策	スキントラブルについての知識 利用者様の快適なケアとは 集団発生の対応と予防策を考える
		感染症の理解	感染のリスクが分かる 感染症の原因と対策 厚労省の感染対策マニュアルの趣旨が理解できる	感染症の予防と拡大防止 感染症罹患に対する差別偏見を防止する 衛生管理の徹底 誤嚥性肺炎について 最新の知識を習得する
		排泄 紙オムツのあてかた	正しくおむつをあてることができる おむつの漏れの原因が分かる 利用者様に合った最適なおむつを選ぶことができる コストの意識を持つ	モレの原因を考える おむつの特徴を知る 各自でおむつを装着し 正しいあて方を身につける 利用者様の気持ちを理解する 重ね使いのデメリットを知る

明日から使える技能を学ぶ

安心安全のサービスを提供できる目を養う

		<p>食べる喜び(嚥下) 誤嚥・窒息の防止</p>	<p>食べることの意義 認知症終末期 摂食、嚥下障害について 食事介助とエビデンス 口腔ケア(食事と細菌の関係)</p>	<p>感染症、褥瘡を防ぐための口腔ケアの重要性を考える 誤嚥性肺炎と唾液の大切さに気付く ブラッシングのできない方への対応を考える</p>
		<p>誤嚥の防止と嚥下マネジメント</p>	<p>摂食嚥下障害の基本 食事介助とエビデンスがわかる 安全に食事介助ができる</p>	<p>嚥下のリスクマネジメント 食事介助技術を身につける 摂食、嚥下障害について 食事時の安全姿勢・安全な食事形態</p>
		<p>口腔ケアについて 誤嚥性肺炎を防ぐ正しいブラッシングと観察する力をつける</p>	<p>口腔ケアの必要性が理解できる 利用者様の状態・ADLに合わせた口腔ケアを立案することができる</p>	<p>感染症、褥瘡の原因となる 口腔ケアの必要性 誤嚥性肺炎と唾液の大切さに気付く、湿潤ジェル の活用 正しいブラッシングとブラッシングができない人の ケア</p>
		<p>リスクマネジメント ヒヤリハット(KYT)</p>	<p>日常に潜む危険箇所に 気づくことができる 危険を予測することができる</p>	<p>デイサービスで起こりやすい ヒヤリハットと対策 危険なことをしたくない心理が 働く原因</p>
		<p>リスクマネジメントの視点と 生活の質の保障</p>	<p>高齢者支援についての考え方 ①尊厳保持 ②自立支援 リスクを先取り挑む リスクを正しく捉える</p>	<p>事例を通して、安心安全と利用者の生活の質の保 障について考えます 高齢者ケアの原則を学び、 介護職としてあるべき支援の視点を養います ヒ ヤリハット(KYT)からの事故防止</p>
		<p>緊急時の対応</p>	<p>変化に気付くには 確実な心臓マッサージ 落ち着いて行動することができる</p>	<p>気付きの重要性 心肺蘇生法(CPR)とは 心臓マッサージ、実技 グループワーク、事例 送迎中、夜勤時の急変対応をワークから考える</p>
		<p>移乗・トランスファー・ポジショニング 腰を痛めない移乗介助方法</p>	<p>ケア技術の向上 エビデンスを考える 安全に介助ケアができる 自分の身を守る</p>	<p>日常のケアの中で、なぜその行為が 必要なのか、確認していく 安全なトランスファーを学ぶ 困難事例とともに理論と実践を学ぶ クッションを有効に活用する</p>
		<p>福祉用具の活用と腰痛予防 明日から使える 腰痛にならないための介助法</p>	<p>利用者様のアセスメントから、 その先を見る目を養う 福祉用具を正しく使うことができる 腰痛の正しい理解</p>	<p>残存機能を生かした 正しい福祉用具の選び方 腰痛予防を考える ノーリフトの新しい考え方 介護シーンのスライドから 危険箇所を検証する</p>
		<p>腰痛予防</p>	<p>ケアの中にある腰痛リスクの場面 危険予知ができる 腰痛予防対策ができる</p>	<p>日々のケアの場面から 腰痛リスクとなる箇所に気付く 無理な体勢をつくらないためには 利用者様のアセスメントを把握することで、予想さ れる危険を回避する</p>

令和4年度 研修 年間計画

明日から使える技能を学ぶ

安心安全のサービスを提供できる目を養う

施設名	日時	テーマ 内容	目標 内容	研修内容
		視覚障がい者への理解と支援	よりよい共生社会を築く 共生社会と合理的配慮 職場のユニバーサルデザイン	岐阜県立岐阜盲学校の教諭を特別講師に迎え、障がい者の立場からお話をいただきます
		利用者様と家族と介護保険	利用者様・家族の信頼を得る 施設の役割を理解する	介護保険の中で、施設が果たす役割を考える 家族からの信頼を得るには利用者・家族が求めるものは何か お客様の満足度をあげるためには
		売上とは	運営について理解することができる 売上を考えた行動ができる 部署ごとの分析ができる	お金の動きと施設運営 事業所が存続するにはサービスと売上 今後のデイサービスの動向 マネジメント
		プライバシー保護について 個人情報とコンプライアンス	個人情報の取り扱い方 関係法令が理解できる	プライバシーとは何か プライバシー保護法と関係法令 施設外での雑談で注意する点と 実例
		LGBTの人たちが 自分らしく働くために	多様性 ダイバーシティ 働きやすい職場づくりを考える	電通ダイバーシティ・ラボ LGBT調査より 当事者の声を聞く LGBTと仕事の実態(雇用・待遇) 企業での取り組みと社会の動き ありのままを受け入れる社会づくり
		看取り研修 ACP 人生会議への関わり	わたしたち個人ができること 事業所としてできることを学ぶ	厚労省が推進するターミナル看取りの理解とわたしたちが何をすればいいのかを考える。 職員の心のケアについても、安心して働ける環境を整える
		看取り研修 ターミナルケアについて[映像]	ターミナルケアの実際と 心の問題	本人の死の受け入れ 死の過程の諸段階 死生観を時間軸から見る E.キューブラー・ロスから学ぶ 職員のすることとは
		スキンケアの基礎知識と 褥瘡予防	ご利用者のスキントラブルの対応 褥瘡をつくらない スタッフの手荒れ防止、保湿対策	スキントラブルについての知識 利用者様の快適なケアとは 褥瘡を作らないためにすべきこと できた後の処置方法について

		中重度者向けのレクリエーション [演習]	特養など中重度者向けに効果あるレクリエーションの向き合い方を体得する	レクリエーションの効果についてレクの種類とそれぞれの根拠を理解する レクの実践から利用者様の心の内に秘める感情や思いに対して、寄り添うケアを学ぶ
		「認知症の予防」と引き戻し (認知症予防レクリエーション) [演習] ・ [3A]	認知症の予防と引き戻しについて理解することができる 具体的に効果があるとされるレクの中から厳選して覚えます	引き戻しに効果的な脳の活性化利用者様との関わりに効果のある方法を学ぶ スリーA方式の実践
		実際に効果のあった紙芝居の実演	認知症予防レクリエーション 紙芝居の魅力と効果を知ること、ご利用者が安心できる環境をつくる	紙芝居に隠された効果を知る スタッフが効果ある紙芝居を披露することで、ご利用者の当時の記憶を思い出すお手伝いができる 日常ケアでの信頼関係の構築
		本人が輝くレクリエーション 自分史づくり [演習]	自分史づくりを通して、本人の過去生い立ち、人生、価値観を知ることができる 家族の協力を得ることで、事業所のスタッフとの信頼関係ができる	スタッフでもできる自分史をつくる 本人と家族とスタッフの共同作業の流れを知る 本人家族から信頼される関係性をつくる 本人が主人公となる引き出しづくり
		笑えば幸せ [実演]	利用者への関わり方スキル向上 生活の中の笑いの大切さを知る 笑うことのすばらしさについて考える	働きやすい職場づくり 人生笑うが勝ち 笑いの効果について考えよう 落語を体感して、コミュニケーションに活かす
		音楽療法 音楽アクティビティ	日常のケアの向上に役立てる	音楽の持つ特性を理解する リハビリテーションとして、日常のケアにどのように取り入れるかを学ぶ 体験と実践 音楽を使ったレクリエーション
		震災・防災対策 福祉避難所とは	チームとして震災に備える 地域に対して今準備できること 行動手順の確認	KIZUKI・災害シミュレーションゲーム 仮想体験型ゲームを体験する 熊本地震で被災した特養ホームの事例から、職員としてすべき備え、できること、地域の中の事業所の役割について考える
		介護士が知っておきたい薬の副作用と安全な管理	安全な服薬を知る 誤薬をなくす	薬の特徴と副作用 高齢者に多い症状 施設での薬トラブル 薬が合っていないと思う時の、Dr.へ相談するタイミングは

令和4年度 研修 年間計画

明日から使える技能を学ぶ

安心安全のサービスを提供できる目を養う

施設名	日時	テーマ 内容	目標 内容	研修内容
		介護の基本	わかっているようで曖昧な 介護の基本を今一度考える	生活の再構築 自立支援 尊厳 を深く掘り下げる
		事故防止 人生100年時代の転倒予防 身近な転倒を再考する 県立多治見病院 リハビリ柴先生	寝たきりの原因となる転倒をなくす 自立支援と安全のバランスがわかる	転倒骨折をなくすには 姿勢と転倒 疾患と転倒 筋力と転倒 の関係性 転倒のメカニズム 転倒の危険因子と予防方法
		福祉用具の活用と腰痛予防 県立多治見病院 リハビリ柴先生	利用者様のアセスメントから、 その先を見る目を養う 福祉用具を正しく使うことができる 腰痛の正しい理解	残存機能を生かした 正しい福祉用具の選び方 腰痛予防を考える ノーリフトの新しい考え方 介護シーンのスライドから 危険箇所を検証する
		明日からできるシーティング技術	①想像する ②座る ③触る ④合わせる	「〇〇なお尻で座ろう」 円背の方 傾いてみえる方 どうされていますか ファーストクラスにのろう
		今の介護福祉士が学んでいる 介護過程とICF	介護過程とICFの実践ができる	介護過程とICFについて ICFってなんだ ICFに基づくアセスメントの視点 ICFの目的「生きることの全体像に ついてもう一度考えて、利用者様と向 き合おう」
		アップデートの重要性と ボディメカニクス	知識と技術のアップデート	介護技術も知識も日進月歩 昔習った介護技術も今は古いかも？
		パーソンセンタードケア実践編	パーソンセンタードケアの基本を知る 日常のケアの中にどう生かせるかを 考える	実践のための3ステップ 「聞く」「集める」「見つける」 ケース事例検討 食事・トイレ・お風呂・睡眠・妄想 一人歩き・意欲・暴言・不穏
		世界の介護事情 海外から羨まれる幻の日本	世界の様子と日本の可能性が分 かる いま私たちに求められるものとは 海外介護士からのレポート	アジア健康構想 外国人技能実習生を理解する 特定と技能実習生何が違うの ともに働く仲間と国際相互理解

	接遇	接遇 元NHKアナウンサーが伝える 社会人としてのマナー基礎	『コミュニケーション術について(1.5時間)』 『アナウンサー直伝！好印象を与える話し方(1.5時間)』 『社会人としての言葉力』『人を引きつける話し方(1.5時間)』 『心に残る話し方講座(2時間)』 『好印象を与える！話し方&自己紹介(2時間)』	
	コーチ	接遇 患者サイドからみた接遇	患者の気持ちを知り 声掛けが変わる 自分を見つめ直し、 人にやさしくなれる	がん患者の気持ちを知る 宣告時、人は何を考えるのか 医療現場から本人の証言 仕事の向き合い方 何のために働くのか
	コーチ	仕事の組み立て方	業務に追われない、 上手な時間の使い方を学ぶ	サービスの質の向上のための タイムマネジメントを学ぶ 社員の心得 伝え方のコツ
	コーチ	教える技術 結果を出せる部下を育てるために	自信を持って部下を指導できる 話を聞き、アドバイスができる 気付かせる モチベーションをあげることができる	人を動かすとは 答えを出さず、どう導くか 不安を持つ管理者が自信を持つには
	コーチ	新人・中堅・ベテラン ・若手リーダー・管理職	はぐくみあう人間力	職場の風土を良くする
	各階層別研修	新人・中堅(0~5年) ベテラン(6年~)	新人 コミュニケーション自己理解・他者理解 中堅ベテラン 元気になる研修 職場のいざこざ解決・人間関係の課題とセルフケア アサーション・コミュニケーション	
		若手リーダー	次世代リーダー向け 6回コース 1.本に触れる、仲間づくりをする 2.人間関係力とは 3.人間・ケアを考える 4.患者を通していのち・生きるを考える 5.自己理解他者理解 6.対話づくりの実践	
		主任	主任向け はぐくみあう人間力 役割りの自覚と自分も周りも元気にする 自己理解他者理解 職場の風土を良くする 主任が元気になる研修	
		管理職	管理職向け 自分も相手も成長できる対応 スタッフを巻き込みながら組織づくり ぶれない軸をもってスタッフを巻き込む 管理者としての視野を広げる	

令和 4年度 研修 年間計画

明日から使える技能を学ぶ

安心安全のサービスを提供できる目を養う

施設名	日時	テーマ 内容	目標 内容	研修内容
中堅 パッケージ	3～5年 中堅・ベテラン職員向け スキルアップ研修 カリキュラム型 【介護過程】			
	6月	人間と社会	人間の尊厳と自立 人間関係コミュニケーション 社会の理解	
	7月	介護	コミュニケーション技術 生活支援技術 介護過程	
	8月	介護者支援4つのポイント	介護者の理解と家族会の活動	
	9月	認知症について 認知症の方の立場から 行動を理解する	一歩進んだ認知症介護をめざして	
	10月	相手を知る傾聴のコツ	傾聴のポイントと演習	
	11月	終末期を支える医療	重度者の在宅介護から看取りへ	
	12月	実践的な認知症介護	パーソンセンタードケア含む	
	1月	実践から学ぶ 成年後見制度	利用した方がいい方は？ 制度の内容と現状	
	2月	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解 認知症の理解 障害の理解	
	3月	医療的ケア	医療的ケア	
<p>全てにおいて明日からのアクションプランを考えてもらい、次回進捗発表</p> <p>今の介護福祉士が実務者研修で学ぶ内容を、中堅、ベテランも学び直し、 現場に根拠ある介護の実践が拡がることを目指す</p>				